

ふじしま秋まつり つや姫の里の収穫祭

令和元年 10月27日（日）
午前10時～午後2時 藤島体育館

～主なイベント～
つるおか食の祭典2019
有名料理人オリジナルスペシャル料理の販売
地産地消給食メニューの試食
有機米の食べくらべ
藤島農産物元気食案部のふるまい
大東文化大学社会学部の料理試食

JA庄内たがわ藤島支所秋まつり
芋煮・つや姫と雪若丸おにぎりセット販売
収穫感謝ふるまい餅つき、グラウンドゴルフ大会
米おこしのふるまい、直売コーナー

第30回日本蕎麦文化大祭
蕎麦工芸作品展示、蒸籠づくり体験

米俵投げ大会（男性10kg・女性5kg・小学生3kg）
キッズ蕎麦（おやつ、お弁当）
ステージイベント（チアダンス）
米俵の重さ当てクイズ
お買い物抽選会、包丁研ぎ等予定

第48回 藤島芸術文化祭
10/25（金）～27（日）藤島地域活動センター
※芸術発表会 27（日）開演 午後1時

第30回 ふじしま音楽祭
11/2（土）開演 午後1時 藤島地域活動センター
※30周年記念事業も行われます。

主催：ふじしま秋まつり実行委員会
【お問合せ】TEL:0235-64-2229 ふじしま観光協会内

共催：ふじしま観光協会、JA庄内たがわ藤島支所、鶴岡市・出羽商工会藤島支所、JA庄内たがわ藤島支所農工芸部会、藤島芸術文化協会、つるおか食の祭典実行委員会、ふじしま文化フェスティバル実行委員会



今回の総合同会は松浦彩さんです！
鶴岡市出身／フリーアナウンサー。山形を拠点にラジオパーソナリティ、イベントMC、ナレーター、テレビリポーター、カートレース実況などで活躍中。（鶴岡市HPから）

「しめかざり研究家」の森 須磨子さん講話に期待

11月8日に藤島地区 地域活動センターで開催予定の「第4回収穫感謝パーティ」で講師を務める「しめかざり研究家」の森 須磨子さんに期待が高まります。

強い思いが込められ
森さんの絵本『しめかざり』（福音館2010年刊）には、全国各地の様々なしめかざりが登場し、その作り方まで図解しています。
「昔はお米がたくさ

ん実ることが人々の願いだっただ。だからお米を守ってくれたワラをつかって、しめかざりを作ったんだよ」
「昔は、日常生活でものを縛ったりするときに、右廻りの縄をつかいました。しかし、しめかざりは日常とはちがう特別なものなので、左廻りにすることが多かったのです。」
「ワラは右廻りにするより、左廻いにした方がほどけにくく、強い縄ができると言われ

ることもあります。左廻いのしめかざりには、それだけ強い思いがこめられているのです。」などと、子どもにも興味を持てるように書かれています。

晩秋

窓前 処処入深秋
月在中天 晚雨収
独坐耽書 無限興
霜多石榻 候虫幽

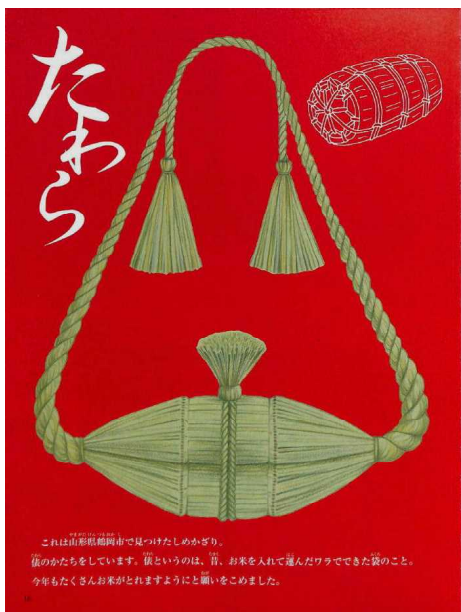
窓から見える景色は何処かしこも秋深くなり、夕暮れの雨もやみ月は空の中央にでている。夜の長い秋は独りで座って読書にふける限りない楽しみがあるのだ。霜は石の腰掛にたつぷりとおりて秋の虫も寒さに我慢できずに隠れてしまった。

窓前 窓からみえる景色。処々 ちこちこ。中天 中空。天の中央。晩雨 夕暮れに降る雨。耽 熱中する。石榻 石で作った腰掛。候虫 秋の虫。

晩秋

窓前 処々 深秋に入る
月は中天に在って 晚雨収まる
独坐して書に耽る 無限の興
霜は石榻に多く 候虫 幽れる

城貞（藤の花）



これは高松稲穂町で見つけたしめかざり。儀のかたちをしています。儀というのは、昔、お米を入れて漕んだワラでできた袋のこと。今年もたくさんお米がたれますようにと願いをこめました。



これを作っているのはワラ師十名人の大久保さんです。「このしめかざりは、ひとつ作るのに1日半もかかります。ワラの先の方だけをたくさん集めたり、それをならべて糸で漕んだりするので、とても時間がかかるのです。でも気持ちよこめて作っているから手間は前しませんよ」

「第4回収穫感謝パーティ」
◎11月8日（金）
午後5時30分から
◎藤島地区地域活動センター大ホール
◎第1部 講話『年と年を結ぶ「しめかざり」の魅力』森須磨子氏
◎第2部 交流会（会費・男1000円、女500円）
主催：庄内農高瑞穂同窓会・藤島地域連絡協議会（☎64・2281）

森 須磨子『しめかざり』（福音館2010年刊）

二児を連れ満州国を迷れ来し叔母百歳をしづかに終へり
九人の子を育てし祖母の回顧録戦地へ六人ひとり帰らず

葫蘆島（コロトウ）

新町 斎藤留治

コロトウ、私が知ったのは昨年春、NHKテレビで放送された「どこにもない国」というドラマを見て、それ以来心に残っている地名です。

ドラマの内容は、1945年、日本の敗戦によって満州に取り残されて悲惨を極める邦人の帰国に命を懸けた3人の日本人を描いたものでした。

葫蘆島は、中国遼寧省にあり、終戦時に日本との間で唯一解放されていた港で、舞鶴港や佐世保港へ引き上げに利用されたということです。

この引き揚げ模様について、先日、仙台市で中国人画家の王希奇さんが描いた絵を見ることが出来ました。

王さんは葫蘆島に隣接する遼寧省錦州市出身で、歴史を題材とした油絵や墨絵を書いています。

その王さんが終戦直後に葫蘆島から引き揚げた日本人を描いた作品「一九四六」、絵は当時の写真を基に描いた舞鶴港や葫蘆島の風景目を引いたのは引揚戦に乗ろうと列を作る人々が描かれた大型絵画でした。

「幼子を背中に子供の手を引く母親、白い骨壺のようなものを抱えた男の子」等々を見

ていると、聞こえてきたのは「この子は自分？

亡き母親？可哀そうだなヤ」という呟きでした。

戦争責任を曖昧模糊とした日本政府。貫った資料には「引

き揚げ船に乗船して見下ろすと、島民の方が掲げたのか“同じ人種・同じ文字を持つ友達の皆さん、お元気で祖国にお帰り下さい”と、中国語で書かれた横断幕が掲げられていました」と、仙台市の方が書いていました。



『王希奇「一九四六」宮城展』宮城県美術館HPから

世界の国々

スリランカ②

「憎悪は憎悪によって止むことはなく、愛によって止む」

青山崇

国名は、1978年にセイロン(植民地時代の国名からスリランカに改称し、首都も、2010年コロンボからスリジャヤワルダナプラコッテに遷った。しかし事実上コロンボ郊外の一角である。面積は6万5610

km²で日本の20%弱、人口2167万人で、インドの先端にぶら下がっているような恰好である。表記の言葉は、1951年サンフランシスコ講和会議で、セイロン代表(写真)が引用した釈迦の言葉である。

セイロンは、幸い侵略を受けなかったが、空襲による損害、東南アジア司令部に属する大軍の駐屯による損害、並びに連合国に供出する自然ゴムの唯一の生産国であった時に於ける、ゴムの枯渇的樹液



採取によって生じた損害があった。セイロン代表は、損害賠償を要求する資格を我国に与えるものと述べたうえで、この釈迦の言葉を引用して賠償請求を放棄(他国も同様)する演説を行い、日本の国際社会復帰を認め、日本の国際社会復帰の道筋を作った。

議長国アメリカは、将来日本を再軍備させる思惑から放棄を主張したが、大被害を受けた多くの国々は賠償を主張していた。



少ない赤とんぼ

♪夕焼け小焼けの赤とんぼ 負われて見たのはいつの日か

ご存じ三木露風作詞

・山田耕筰作曲の赤とんぼの季節です。この頃は負われている子を見なくなりませんが、田舎らしい風情の赤とんぼが、今年は極端に少ないと思いませんか。

▲例年ですと、車で移動中に何頭もぶつかり、ゴメンヨ・なんて言いながら運転していたもんですが、今年はそんなことがないようです。今思えば、蝉も少なかったし、イナゴもいかなかったじゃありませんか。そうそうアメシロも出なかった。

▲アメシロ消毒は集落ごとに頑張ってきたが、それでもあれで全滅させたとは誰も思わないだろうし、イナゴも消毒は効いているとは思いますが、蝉・とんぼ

は？となる。

▲何故なのでしょうかねー。誰か研究していると思いますが、不思議な年だと思っていました。俺はドクダミに手を焼いるが、皆さんは何か植物に気が付いた物はありませんでしたか。外来植物のセイタカアワダチソウが、葛(つづみ)に抑え込まれていたつげづ・という楽しい話は聞いたが。

▲極端に大きな台風19号などは、地球の温暖化に関係あると言われるのですが、この辺の稲も柿も平年作以上とのようですから、虫類にとっても気候変動とは結び付かないのでは思われるんだが。

▲いつかテレビで見た外国の実態は、虫類全体の量が何年前と比べると半分以下に減っているというものだった。それは地球の生態系が大変なことになっているゾ言うものだったんだが。(石川)